

Expedition members

今回の舞台裏探検隊員はこちら



吉森 三季さん 渋谷区中幡小学校勤務
小学校で図工を担当している吉森さん。「日本で一番好きな宿泊施設、ホテルニューオータニは我が家にとって特別な場所。普段は見ることができない裏側を見ることができて感激しました。早い時期から環境負荷を軽減する取り組みをされているのを知って、さらに好きになりそうです」

協力：
ホテルニューオータニ

広大で由緒ある日本庭園に囲まれたラグジュアリーホテル。1964年、東京オリンピック開催に合わせて開業。以来、「東京サミット」や「即位の礼」晩餐会など数々の歴史的な舞台にも指名され、世界に通じるおもてなしの質を磨き続けている。

<http://www.newotani.co.jp/tokyo/>

次回の参加者募集中!

今回は「ガラス工場」の舞台裏を探検!

訪問先は関東近郊を予定しています。繊細で美しいガラス製品づくりの裏側と熟練した職人の手仕事に迫ります。ぜひご応募ください!

応募方法: 差込の「かがやき」編集担当宛はがきにある「大人の社会見学ルポへの参加希望」の欄にチェックを入れてお申し込みください。

応募締切: 平成29年1月13日(金) 必着

取材時期: 1月下旬~2月中旬



いよいよ地下の専用施設へ潜入!



宿泊客や様々な来場者の送迎車がひっきりなしに行き交うホテルニューオータニ。



水やガス、電気等のパイプが走る機械室。



万一に備える防火資材は未使用のまま!



蒸気のお湯をつくる巨大ボイラー。

「ホテルの裏側には、お客様も環境も大切に考えた取り組みがいっぱい」



生ゴミは全て有機堆肥に!



真剣な表情で三浦さんの説明に聞き入る吉森さん。



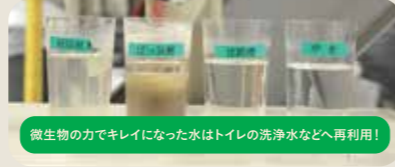
雪の日の転倒防止用むしろ。



殺菌効果のある木製受水槽。点検・洗浄はこのハシゴを登って行う。



中水道水プラントでは1000もの厨房排水を浄化洗浄する。



微生物の力でキレイになった水はトイレの洗浄水などへ再利用!

する巨大水槽です。ここで微生物による「ばつ気」が行われ、ほとんど飲料水と同じくらいに浄水された中水をホテル内で再利用。一日1000トンにも及ぶと言いますから驚きです。「わあ、酒蔵みたい」と吉森さんも目を丸くするのは、最後に案内いただいた木製受水槽。90トンの水を貯えるという受水槽には、耐久性の高いヒバの天然木が使用され、東日本大震災でもビクともしなかったといえます。「これも良い材質のものを長く使う、という考えに基づいて、開業当初からヒバ製を採用しています」と三浦さん。50年以上にわたって受け継がれる環境への思いは、ホテルにとって「おもてなし」精神のひとつ。吉森さんをはじめめとする多くの利用者を惹きつけてやまない理由が垣間見えた取材となりました。

都心でありながら緑豊かな日本庭園に囲まれ、喧騒から離れた静寂に包まれる『ホテルニューオータニ』。今回の取材先は、世界各国からの貴賓を質の高いおもてなしで迎えてきた名門都市型ホテルです。多くのお客様で賑わう夕刻のホテルで待ち合わせたのは参加者の吉森三季さん。小学校では図工を担当している吉森さんは「ホテルニューオータニには昔から縁があって、大好きなホテルなので、今日はとても楽しみにしていました」と期待でいっぱいのご様子です。案内役のフシリティマネージャー ジメント課の三浦光昌さんと広報の湯本健太郎さんにご挨拶を済ませ、さっそく関係者以外は立入禁止の扉を開けて地下の施設へ。そこにあったのは、大小様々なパイプが走り、巨大ポンプや蒸気ボイラーの熱気を感じる機械室で、華やかな表舞台とは異なる空間が広がっていました。「ここはホテルで使用されるお湯をつくる場所であり、また万が一の火災に備えての消火用ポンプを設置しています。幸いなことに開業以来一度も作動したことはありませんが、定期的に安全祈願を行うって常に意識つけしてい

ひとつの街のようなホテルの裏側。



取材/撮影: スクーデリア

大人の社会見学ルポ

「ホテルニューオータニの舞台裏」

舞台裏探検隊が行く!

the Backstage Tour.

ます」と三浦さん。聞けば1000トンもの水を貯水する防火ポンプをはじめ、ホテルの様々な設備は、近隣の街を守る役割も果たすよう常に整備されているのだとか。地震や火災等、都市災害の避難所としての意識の高さもうかがい知ることができました。次に案内されたのは、厨房から出る生ゴミ全てを資源化する「コンポストプラント」。1日約5トンにも及ぶ生ゴミを乾燥、発酵させて有機堆肥に変え、契約農家へ販売しています。そしてそこでつくられた野菜や米は従業員食堂の食材として再び買い取るという循環が成り立っています。「全てリサイクルできるなんて素晴らしいですね。商品として販売されていたら、ぜひ買いたいです」と目を輝かせる吉森さん。ホテル業界は必然的にエネルギー使用量も多く、排水やゴミも多い業種でありながら、なかなかリサイクルが進んでいないのが実状とのこと。そんななか、ホテルニューオータニでは20年近く前からリサイクルシステムをはじめ、地球環境保全を考えた取り組みに積極的だと言います。「当ホテルでは可能な限り環境への取り組みを公開して、社会全体の意識向上のお役に立てればと考えています」と湯本さん。「裏側を見せていただけるのは、利用者である私たちにとても安心感につながりますね」と吉森さんも感心した表情に。さらに編集部一行は、「中水道水プラント」へ進みます。ホテル内50箇所近い厨房からの膨大な排水を再利用